

システム要件定義成果物サンプル&ガイド
DS-202：帳票機能要件定義

第1.10版

2018年08月29日

1. 概要

システム機能一覧からシステムが出力する帳票を抽出し、個々の帳票の機能要件を定義する。
帳票機能要件定義は、「帳票一覧」「帳票レイアウト定義」「帳票項目定義」で構成される。

2. 使途

- お客様と以下を合意する。
 - ・業務で利用する帳票が網羅的に定義されていること。
 - ・個々の帳票の出力サイクル、出力様式、レイアウト、出力項目などが妥当であること。
- 個々の帳票の出力項目をインプットに、論理データモデル定義のエンティティ・属性項目の検討を行う。

3. 記入要領

(1) 帳票一覧

業務で必要となるシステムから出力される帳票を一覧化する。

No	記述内容	記述内容説明	補足
1	帳票 I D	プロジェクトで取り扱う帳票を一意に特定するための I D を記述する。	
2	帳票名	プロジェクトで取り扱う帳票を一意に特定するための名称を記述する。	
3	出力目的・用途	帳票の利用者・出力目的・用途などを記述する。	
4	出力方式	帳票を出力する方式（オンライン出力、バッチ出力）を記述する。	
5	出力サイクル	帳票を出力するタイミングを記述する。	
6	出力期限	バッチ出力の場合、帳票を出力する期限（デッドライン）を記述する。 ※第 3 営業日 09:00 など。	
7	出力様式	帳票の出力様式（汎用紙、PDF など）を記述する。	
8	用紙サイズ	帳票の用紙サイズ・向きを記述する。	
9	関連システム機能	帳票を出力するシステム機能の I D と名称を記述する。	

(2) 帳票レイアウト定義

帳票に出力する項目などの帳票全体のレイアウトを定義する。
※吹出し等で出力項目等に関わる特殊な要件等を任意で記述する。

(3) 帳票項目定義

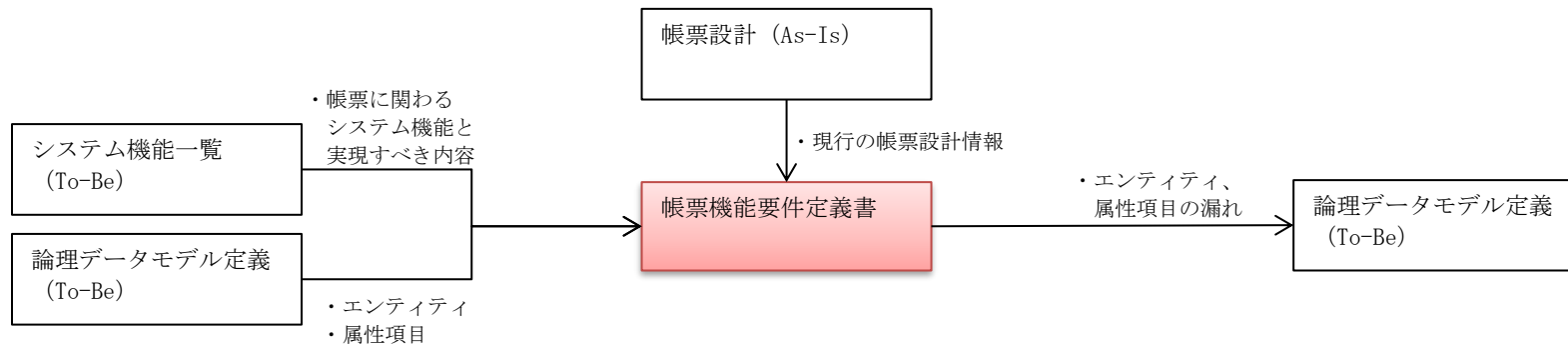
帳票を構成する出力項目の詳細を定義する。

No	記述内容	記述内容説明	補足
1	項目名	帳票レイアウトに定義した出力項目名を記述する。	
2	桁数	出力項目の桁数を記述する。	
3	項目説明	出力項目の意味・内容を記述する。 ※必要に応じて、編集要件・表示形式も記述する。	
4	関連データ項目	出力項目に対応する論理データモデルのエンティティ名とデータ項目名を記述する。	

(4) 特記事項

(1)～(3)で記述できない帳票機能要件（改ページ制御など）を任意で記述する。

4. 他成果物との関係



5．表記例

1．帳票一覧

帳票 I D	帳票名	出力目的・用途	出力方式	出力 サイクル	出力期限	出力様式	用紙 サイズ	関連システム機能		備考
								I D	名称	
RP0001	受注情報一覧(担当者別)	営業担当者が前月の受注実績を確認するために、営業担当者別の前月の受注実績を一覧出力する。	バッチ出力	月次	第 3 営業日 09:00	PDF	A4横	BBAB50	受注情報一覧出力機能	
．．．	．．．	．．．		．．．	．．．	．．．	．．．			

(1) 帳票レイアウト定義

14px

9px

9px

9px

(2) 帳票項目定義

No	項目名	桁数	項目説明	関連データ項目	
				エンティティ名	データ項目名
1	【ヘッダ部】	—	—	—	—
1.1	部署名	32	出力対象の販売担当者が所属する部署名	部門マスタ	部署名
1.2	販売担当者名	32	出力対象の販売担当者の氏名	販売担当者	氏名
1.3	対象年月	8	出力対象の受注年月（形式：YYYY年MM月）	受注	受注日
2	【明細行】	—	—	—	—
2.1	受注日	10	出力対象の受注の受注日（形式：YYYY/MM/DD）	受注	受注日
2.2	受注No	10	出力対象の受注の受注No	受注	受注ID
2.3	顧客コード	8	出力対象の受注元の顧客コード	受注	顧客コード
2.4	代表商品コード	8	出力対象の受注の代表商品コード	受注明細	商品コード
2.5	代表商品名	32	出力対象の受注の代表商品コードに紐付く商品名	商品	商品名
2.6	受注金額	12	出力対象の受注金額（形式：ZZZ,ZZZ,ZZ9）	受注	受注金額
3	【合計行】	—	—	—	—
3.1	合計	12	受注金額の合計金額（形式：ZZZ,ZZZ,ZZ9）	—	—

(3) 特記事項

・特になし。